

別紙

前年度の温室効果ガスの排出の量及び排出削減計画に基づき実施した措置の状況

氏名	(法人にあっては名称) 水島合金鉄株式会社	住所	(法人にあっては主たる事業所の所在地) 〒 712-8513 倉敷市水島川崎通1-1
----	--------------------------	----	--

本票作成	部署名：製造部
------	---------

主たる業種	分類コード	22	業種名：鉄鋼業
-------	-------	----	---------

事業の概要	マンガン系合金鉄の製造販売・窒化硼素の製造販売
-------	-------------------------

県内の主な工場等	番号	工場等の名称	所在地
	①	水島合金鉄本社工場	倉敷市水島川崎通1-1

特定事業者の該当要件	<input checked="" type="checkbox"/> ①燃料等原油換算1,500kℓ以上 <input type="checkbox"/> ②バス・トラック100台、タクシー250台以上 <input checked="" type="checkbox"/> ③CO ₂ 換算3,000t以上 (●工場等の数 1 所 ●車両台数 (②該当の場合) 台)
------------	---

温室効果ガス排出量	基準年度(平成 21 年度)	(平成 26)年度排出量	目標年度(平成 26 年度)
	261,483 t CO ₂	337,615 t CO ₂	344,000 t CO ₂

主な工場等の排出量	番号	工場等の名称	(平成 26)年度排出量
	①	水島合金鉄本社工場	337,615 t CO ₂
			t CO ₂
			t CO ₂
			t CO ₂

削減目標の達成状況	計画期間：	平成 22 年度	～	平成 26 年度	(5 箇年度)
	<input type="checkbox"/> 総排出量基準	(26)年度削減実績	目標削減率	目標達成	
	<input checked="" type="checkbox"/> 原単位基準	△ 6.0 %	2.0 %	<input type="checkbox"/> 達成 <input checked="" type="checkbox"/> 未達	

(原単位基準の削減目標を選択している場合に記入)	温室効果ガスの排出量と密接な関係をもつ値の内容 換算生産量(t)・・・主要設備のSF炉のエネルギー使用量を基準にして、その他の設備の生産量をエネルギー使用量で換算する	原単位当たり排出量		
		基準年度	(26)年度	目標年度
		2,123 kg CO ₂ /(t)	2,250 kgCO ₂ /(t)	2,080 kgCO ₂ /(t)

(該当事業者のみ記入)

ベンチマーク指標の状況	対象事業の名称	ベンチマーク指標	関連数値(平成 26 年度)	達成率等

【削減状況の自己評価】

当社主要設備であるフェロマンガン製錬炉において、高温送風によるコークス原単位削減やC重油の代替として廃油から製造された再生油使用促進したが、高圧操業や設備トラブルによる送風電力原単位悪化等により目標に対し未達。

【推進体制】

推進体制：エネルギー管理統括者(工場長)→エネルギー企画推進者→エネルギー管理士→各部署
 環境マネジメントシステム：平成18年認証取得

【目標削減率達成のために実施した措置及び今後の取組】

工場等の名称	実施した措置及び今後の取組の内容
水島合金鉄 堅型製錬炉 (SF炉)	<p>【実施した措置】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・フェロマンガン製錬炉の高温送風化によるコークス原単位削減 ・フェロマンガン製錬炉の更新設備への高効率機器（電動機、ポンプ、変圧器等）の採用 ・フェロマンガン製錬炉の日常運転管理強化による省エネ ・集塵設備等不要時の回転数低下 ・空調、照明運転の日常管理の強化 ・ポンプ更新時にエネルギー効率の高いポンプを採用 ・本社事務所へ仕切り増設し冷暖房効率向上 ・C重油代替として廃油の再利用 <p>【今後の取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・設備トラブル防止によるエネルギー消費原単位の削減 ・フェロマンガン製錬炉の日常運転管理強化による省エネ ・空調、照明運転の日常管理の強化 ・ポンプ更新時にエネルギー効率の高いポンプを採用 ・C重油代替として廃油の再利用

【森林保全等吸収源対策への取組】

県内での取組	無	
その他	無	

【再生可能エネルギーの導入】

県内での取組	無	
その他	無	

【その他特記事項】